

くもい いせき 雲井遺跡第28次調査

雲井遺跡第28次調査は、平成20年9月2日に発掘調査を開始し、今年度末に終える予定で、現在調査を進めています。

雲井遺跡は、JRや阪急電鉄の線路をはさんで、東西約700m、南北約500mの範囲（約25万㎡）に広がる遺跡です。六甲山系から流れる旧生田川により形成された扇状地扇端部に位置し、縄文時代から中世に及ぶ複合遺跡です。

これまでの調査で、縄文時代の早期から晩

期の遺構や遺物が確認されています。近畿地方では縄文時代の良好な遺跡が少ない中、平野部での当時の人々の生活を知る貴重な資料です。

弥生時代は前期・中期の遺構や遺物が確認されています。特に昭和62年に発見された弥生時代中期後半の方形周溝墓群は、神戸市内の中心部での発見でもあり、一躍脚光を浴びる遺跡となりました。

今回の調査は、旭通4丁目市街地再開発事業に伴うものです。事業地が約7,000㎡と広範であるため、1～5区に分けて発掘調査を実施しています。これまでに1～3区の約3,800㎡の調査が終了しました。現在、4・5区の約3,000㎡を調査しています。

これまでの調査では、一番上の第1遺構面では、調査地の西端で、鎌倉時代の南北方向の川が存在しました。この川からは、弥生時代の土器、サヌカイト（石器を作る石）、飛鳥時代から鎌倉時代までの土器が出土しています。

第2遺構面では、奈良時代から平安時代にかけての畑が見つっています。

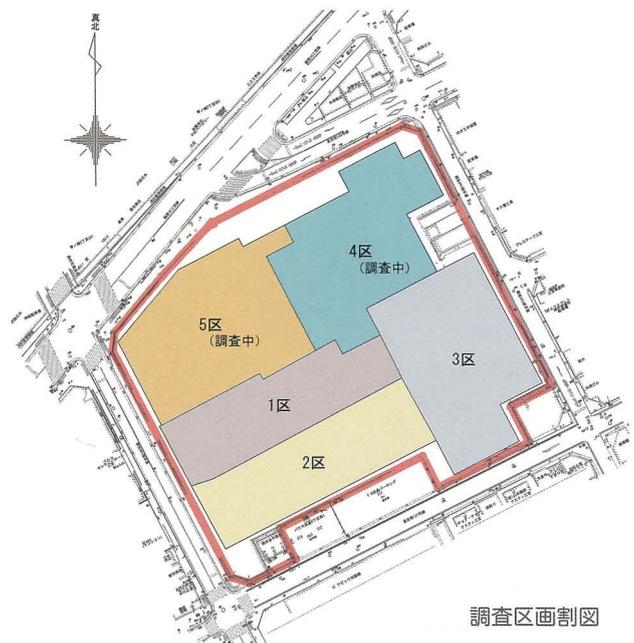
第3遺構面では、古墳時代前期の竪穴建物5棟が発見されました。また、調査地中央には、南北方向の川が存在し、古墳時代後期に埋ま

り終わったものであることがわかりました。

第4遺構面では、調査区中央を流れる川を挟んで両岸に、弥生時代の集落の跡が発見されました。西岸には、中期の円形竪穴建物3棟と、食料などを保存するために使用されたと考えられる貯蔵穴が多数見つかりました。また、前期の貯蔵穴も発見されましたが、建物跡は見つかりませんでした。東岸では、中期の円形竪穴建物が8棟見つかりました。

第5遺構面では、縄文時代早期の集石遺構が発見され、およそ9,000年前からこの周辺で人々が生活していたことがわかりました。

発掘調査の対象にはなりません。一番上の層では、第2次世界大戦中の突き刺さった焼夷弾、防空壕や神戸大空襲の焼け跡などもありました。



調査区画区図



雲井遺跡第28次調査 弥生時代の主な遺構



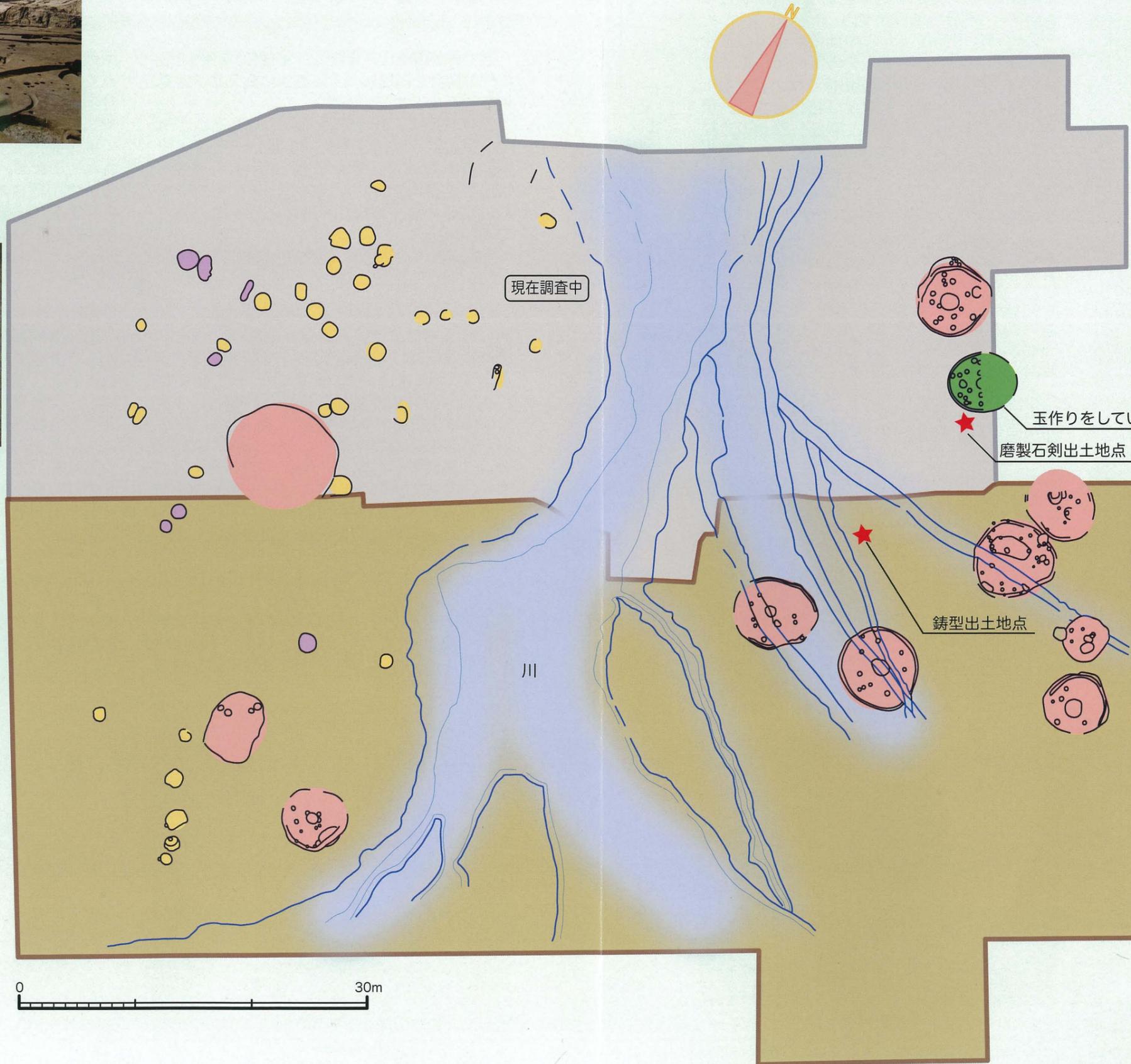
弥生時代中期の竪穴建物群



弥生時代前期の貯蔵穴



弥生時代の川



弥生時代中期の竪穴建物群

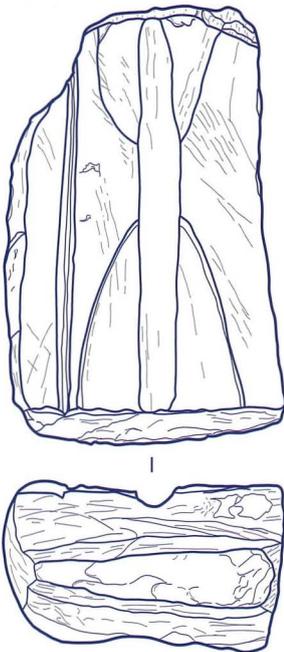


玉作りをしていた竪穴建物

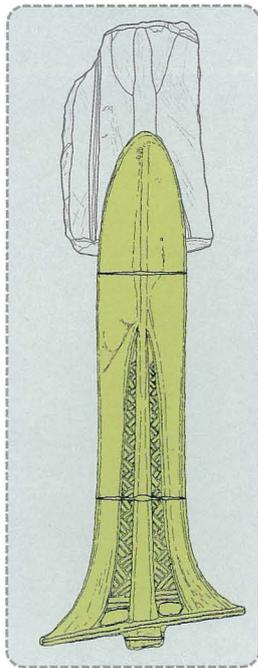
- : 弥生時代中期の竪穴建物
- : 弥生時代前期の貯蔵穴・土坑
- : 弥生時代中期の貯蔵穴・土坑



武器形青銅器の鑄型



鑄型模式図



桜ヶ丘5号銅戈

今回調査の3区で、武器形青銅器の鑄型が出土しました。同様の鑄型の出土例は北部九州に集中しており、近畿圏では兵庫県尼崎市田能遺跡や大阪府東大阪市鬼虎川遺跡などに次いで、5例目になります。

弥生時代中期前半から中葉にかけての遺物包含層中からの出土で、その下の層からは弥生時代中期前半の竪穴建物8棟を検出しました。

鑄型はシルト岩（もしくは粘板岩）で、現状では縦11cm、横7cm、高さ4.2cmの方柱状です。後に砥石に転用されるとともに、鑄（しのぎ）の部分を利用して玉を研磨したようで、鋒（きっさき）の中心に深い溝がみられます。小口には分割した痕跡が見られます。

この鑄型には、鑄造による熱を受けた痕跡が見られないため、実際に青銅器が製作されたかどうかは不明です。しかし、製作されたとすれば、残されている凹みの形状から、平形銅剣もしくは銅戈（どうか）で、鋒と呼ばれる部分と考えられます。凹みは、鋒の断面が緩やかな鑄をもつ幅約4cm、長さ5.3cmの丸みを帯びた三角形です。鋒部のみの形状から見ると、よく似たものとして、神戸市灘区出土の国宝桜ヶ丘銅戈などがあげられます。



碧玉の玉末製品と結晶片岩

4区調査では、碧玉を加工し勾玉や管玉を製作した、玉作り工房跡が発見されました。この竪穴建物は、直径5.2mの円形で、西側半分のみが今回の調査区内にありました。建物の内側周囲には溝（周壁溝）が巡らされ、中央には穴が掘られ（中央土坑）、焼け土と炭が詰まっていた。床面からは、多くの碧玉の碎片や、作り損じた管玉の破片、石鋸の材料である結晶片岩などが出土しています。

神戸市内では、弥生・古墳時代の玉作り遺跡として、西区の新方遺跡がよく知られています。

玉作り関連遺物のほかに、祭祀に使用したと考えられる磨製石剣が出土しており、弥生時代の拠点集落としての雲井遺跡の一端が窺えます。



磨製石剣

今回の発掘調査に際しましては、「旭通四丁目地区市街地再開発組合」の協力を得ています。